

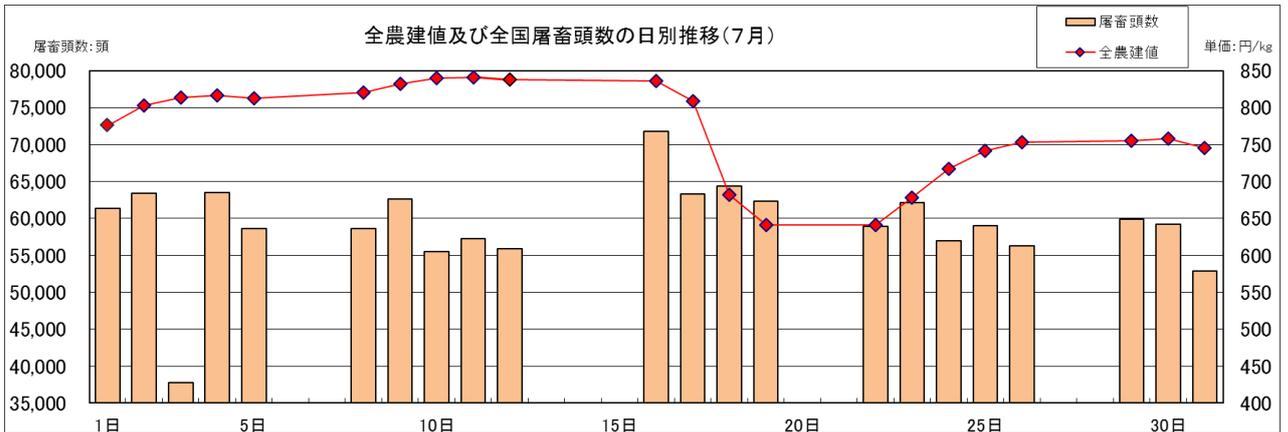
肉豚インフォメーション (7月)

●7月の動向

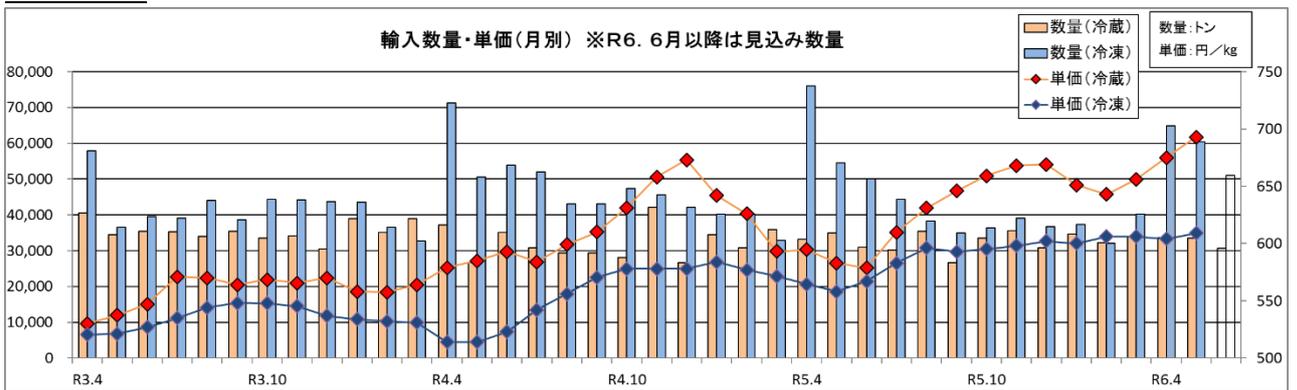
2024年7月(税抜)	2023年7月(税抜)
771円/kg (137円高)	634円/kg

※全農建値

7月は、上旬の出荷頭数が少なかったこともあり上旬は800円を超える高値で推移したが、中旬以降は学校給食の需要減などにより600円代まで急落する相場展開となった。

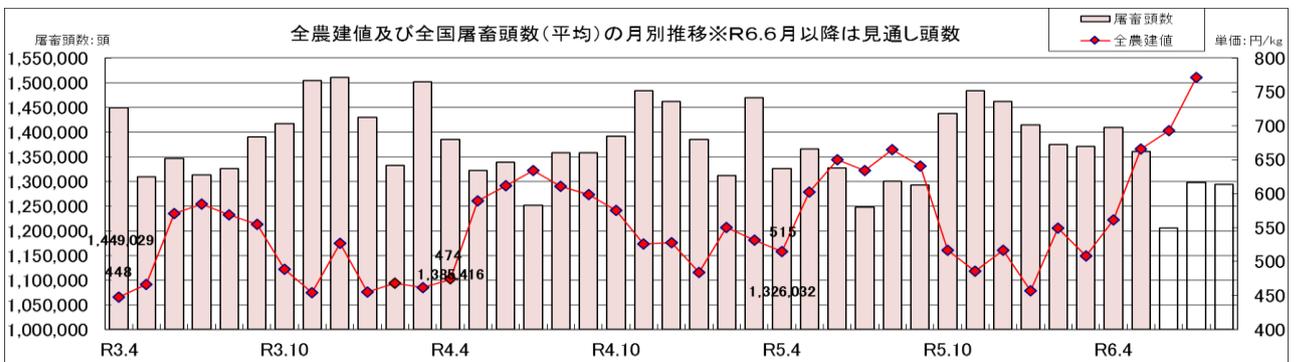


●輸入動向



●8月の動向

8月の出荷頭数については、前年同月をやや下回ると予測。



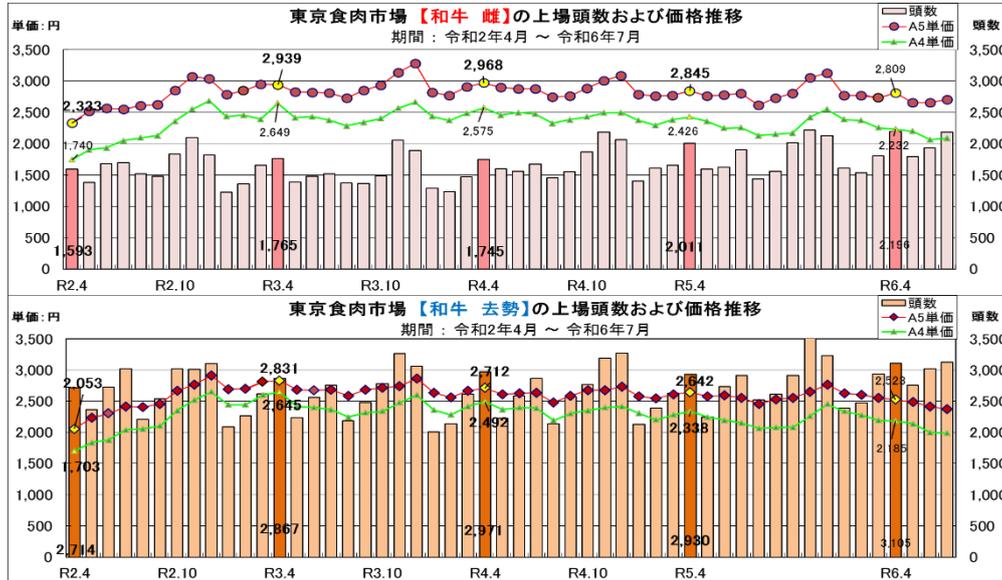
8月の相場については、例年よりやや高値で推移すると予想される。

全農建値(税抜) 予測レンジは650円~700円とする。

肉牛インフォメーション（7月）

● 7月の動向

7月の相場は、先月から継続して弱もちあいの様相を呈し、旧盆商戦に向けた動きも弱かった。同じ等級内でも単価の幅があり、和牛5等級では2,000円以下の枝も散見された。交雑に関しては、雌・去勢ともに若干の回復が見られた。



● 8月の動向予測

8月は旧盆期間中が休市のため、盆明けに手当て買いが入ることが予想される。しかし、消費回復の見込みが薄いことから、和牛はあまり伸びないだろう。交雑牛も落ち込むことが予想されるが、和牛の代替え需要により、ある程度維持されるか。

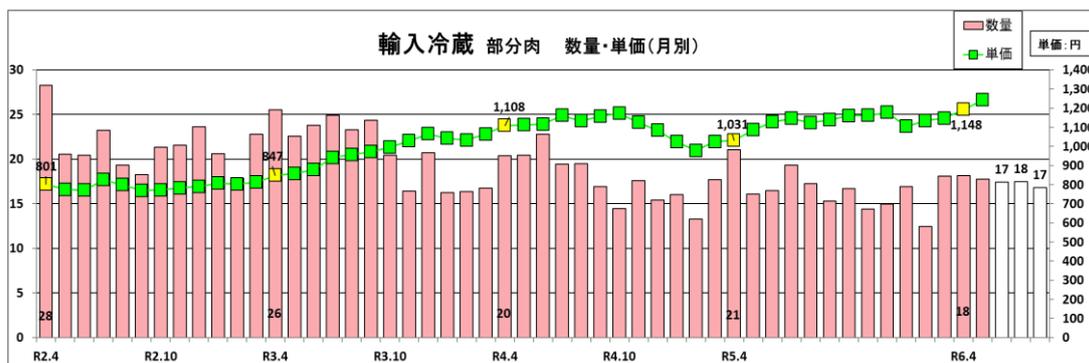
8月相場は「じり安」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,400円（税込み） A4等級 2,100円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,650円（税込み） B3等級 1,550円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国産需要の低迷により低調に推移する中、現地相場高の影響により米国産輸入量の減少が見込まれること等から、7月はかなりの程度、8月はわずかに、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をわずかに下回ると予測する。
(ALIC牛肉の需要予測について 7月29日)



食肉インフォメーション（7月）

● 7月の動向

○牛肉

消費者の節約志向に加え、猛暑続きにより全体的に販売は停滞気味となった。梅雨明け以降は一定の焼材需要はあるものの、動きは期待しているほどではなく、中元ギフトの需要も弱かった。

卸業者は過剰在庫を避けるため、年末に向けた凍結を進めるとともに、チルドは荷動きを優先し薄利での販売となった。

○豚肉

夏休みに入り学校給食が止まっている為、ウデ・モモなどの部位は引き合いが弱まり、需要はバラや肩ロースなどの焼材の荷動きにシフトするも、消費者の節約志向は続いており、消費は伸び悩んだ。

● 8月の動向

○牛肉

8月はお盆休みやパリオリンピック開催による家庭内消費が期待される。しかし消費者も和牛にまで手が伸びない状況であり、価格的にリーズナブルな交雑牛や、和牛は切り落としを中心とした販売となる見込み。

○豚肉

8月も猛暑が予想され、BBQなど焼き材の荷動きは伸び悩む展開が予想され、量販店では冷しゃぶ用にモモ・バラの売り場拡大も予想される。

消費者の節約志向により、ロース・バラなど中部位の荷動きは弱く、低価格帯の部位に集中する流れは変わらない。

● 業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年6月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和4年度6月	22,811	8,322	32,316	21,602	9,823	5,453	100,327
令和5年度6月	25,646	8,568	31,396	20,800	9,183	5,723	101,316
令和6年度6月	22,545	8,036	35,687	18,555	9,572	5,485	99,880
増減 (R5-R6)	-3,101	-532	4291	-2,245	389	-238	-1,436
対比 (R4/R6)	99%	97%	110%	86%	97%	101%	100%
対比 (R5/R6)	88%	94%	114%	89%	104%	96%	99%